

報道関係者各位

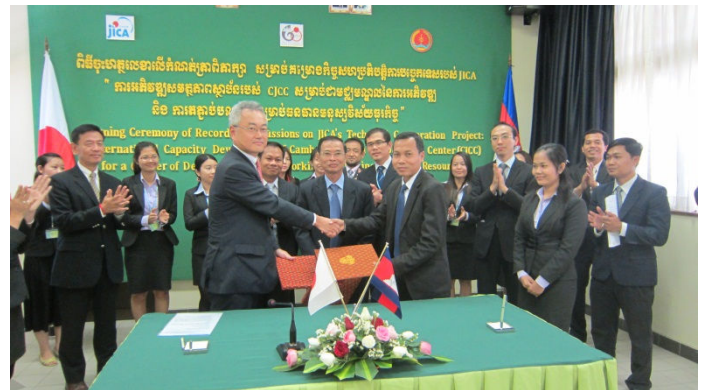
平成25年12月20日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

＝プレスリリース＝

カンボジア日本人材開発センター 新規フェーズ合意文書署名式 —日本とカンボジアのビジネス人材の育成と交流を強化—

国際協力機構（JICA）カンボジア事務所は 12 月 19 日（木）、「カンボジア日本人材開発センタービジネス人材育成-交流拠点機能強化プロジェクト」実施にかかる合意文書（Record of Discussion:R/D）を、カンボジア教育青年スポーツ省（MoEYS）と王立プノンペン大学（RUPP）との間で署名しました。

このプロジェクトのもと、JICA は CJCC と共に、「日本とカンボジアのビジネス人材の育成とネットワークの拠点としての体制と機能の強化」を目的とし、ビジネス人材の育成に取り組んでいきます。



署名式の様子：（左より）JICA カンボジア事務所所長・井崎宏／カンボジア教育青年スポーツ省長官ピット・チャムナン氏／王立プノンペン大学学長チェト・チアリー氏

MoEYS 並びに RUPP と共に JICA は、2004 年から技術協力事業「カンボジア日本人材開発センター（CJCC）プロジェクト」を開始し、また 2005 年 11 月には無償資金協力により CJCC の施設が完成しています。2009 年までの 5 年間にわたり、①ビジネス研修コース、②日本語教育、③相互理解促進事業、④広報・情報発信の 4 つの活動を通じた CJCC の事業実施体制強化を行いました。また、2009 年から開始された技術協力事業のフェーズ 2 では、日本型経営手法を取り入れながら、CJCC がカンボジアの組織として自律的な運営能力を強化していくための組織面、財務面、技術面の強化を図りました。

2014 年 4 月より開始される新規フェーズでは、日本型経営に関するビジネスコースを通じた人材育成や、日本とカンボジアのビジネス人材の拠点機能の強化、現地に進出する日系企業等のニーズに応じた現地人材採用支援や研修コースの開発などに取り組む予定です。日系企業の進出も目覚ましいカンボジアにて、より現場のニーズに即したビジネス人材育成の強化が期待されます。